

## 【令和7年8月 知事定例記者会見】 8月8日

### ● 玄海原発と向き合って50年 佐賀県原子力環境安全連絡協議会

佐賀県原子力環境安全連絡協議会（原安協）が設置されて50年を迎える。昭和47年に県と玄海町、九州電力が協定書を締結。昭和50年1月、協定に基づき原安協を設置。安全性をチェックし続け、年に2回開催し、今年100回目を迎えた。私も知事就任以来、欠かさず参加している。

原安協の第1回目は、昭和50年。4年後にスリーマイル島原発事故、昭和61年にチヨルノービリ原発事故が起きた。平成11年、JCO東海事業所での臨界事故の際には、私も現場に派遣された。この事故により、原子力災害対策特別措置法が制定、佐賀県にオフサイトセンターを設置。玄海3号機プルサーマルが商業運転開始。福島県で第一原子力発電事故が起き、原子力規制委員会が発足。知事として80回目から出席、3号機、4号機の再稼働が注目を浴びた。

依存度は下げるという方針の下、玄海1号機、2号機は廃炉、3号機と4号機は安全性を確保しながら商業運転をしていく。以上を協議会の歩みとしてビデオにした。

100回目の準備中にドローンと思われる3つの光が確認された。九州電力の説明に対し、あらゆる可能性を排除せず、各治安機関と協力し、こうした事案を許さない対策を講じること、この件は国家全体の問題だと指摘した。

7月30日、100回目の原安協は、「協議会の歩み」、福島の動画視聴、元原子力規制委員会の委員長 更田豊志氏による記念講演を開催。

これから先も安全を第一に玄海原子力発電所と向き合っていく決意である。

### ● 山と緑の価値を未来につなぐ 山の博覧会（仮称）・全国都市緑化フェア 令和10年 開催決定

佐賀県は山、川、海がコンパクトにまとまった県。川の下流域が源流域に対して敬意を持つことが大事だと私は思っている。

平成29年7月、九州北部豪雨では朝倉で土砂崩れが起き、それが筑後川を下り、有明海が流木で埋め尽くされた。この出来事をきっかけに立ち上がったのが「森川海人プロジェクト」。

山の会議（仮）は今県内11ブロックで行われ、自発の地域づくりが広がっている。森林保全活動は、企業がCSR的な形で佐賀の山を守るプロジェクト。ほかにもクリーンアッププロジェクトなど、輪が広がりつつある。

令和 10 年、春に全国都市緑化フェアを開催。コンセプトは、過去、現在、未来を緑  
でつなぐ。吉野ヶ里歴史公園、森林公園、佐賀城公園を中心に市町とともに行う。

山の博覧会は、春から秋に開催。全県的にイベント、シンポジウムを開催し、山を守  
る運動を広げていく。個別具体的で自主的な取組のイベント群になる。

人と人がつながって価値を生む佐賀らしい大会を目指したい。

- 冒険はいつだって想いのままに ロマ佐賀 2025

ロマンシング佐賀の季節がきた。まずは、動画を。

(動画放映)

11 回目の今年は、伊万里、有田エリアを新シーズンとして展開する。ロマ佐賀ツア  
ー、有田焼の陶板、マンホールの設置。絵付け体験も楽しめる。コラボメニューは開発  
中。SaGa 風呂、バルナーズコラボも充実させたい。新たな新連携グッズは後日発表。  
サガす旅、冒険はいつでも皆さんの内にある。ぜひ、佐賀にお越しください。

- ポテンシャルを解き放て！ 鳥栖駅東側エリア プロジェクト

鳥栖は、佐賀県に人を呼び込む東の玄関口。駅前不動産スタジアム、サロンパスア  
リーナがあり、駅東側は可能性のあるエリア。ここに関心を集め、みんなで考える起爆剤  
にする事業。鳥栖市と連携し、都市広場も含めたイベントを開催したい。

SNS の時代に合ったシンボルモニュメントを提示することも大事だと考えた。アリ  
タ・マシュマロ・クリスマスでは、マシュマロツリーをクリスマス期間に掲げ、北部九  
州の人を集めるイベントとなった。

鳥栖市鳥のメジロを幅 20 メートル、高さ 10 メートルのオブジェにする。たまごの中  
で何をするかは、乞うご期待。子どもたちも楽しめるたまごにしたい。JR 鹿児島本線  
の車内からも見え、夜はライトアップする。

10 月 4 日、5 日、11 日、12 日にイベントを開催。DJ やアーティストによるライブ  
パフォーマンス、たまごに特化した食、「おつかれ生です。」のマルエフも出店。スプリ  
ングスとサガン鳥栖とも連携する。西口の中央公園にたまごが現れる仕掛けも作り、駅  
前ネスト横丁も一緒に盛り上がるイベントにしたい。

鳥栖駅東側エリアの可能性は無限大！イベント名は TOSU NESUTIVAL (トス・ネステ  
ィバル)。

- 楽しく学ぼう！未来を探そう！ SAGA×Out of KidZania 2025

佐賀県は、子ども割合が全国 3 位。沖縄、滋賀に次いで子どもが多い県。「プロジェ  
クト 65+」で県内就職率を上げる取組や、県内企業とコラボしたものづくりの楽しさ  
を伝える「SAGA ものすごフェスタ」の開催を続けてきた。

11月8日、9日、多久市の佐賀県立産業技術会館をメイン会場に、KidZaniaが監修した職業体験ができるイベントを開催する。他会場でも様々な催しを予定。一部のプログラムは抽選になり、申込期間は9月12日～10月5日。抽選に漏れても、予約不要の社会体験プログラムがある。ほかにも楽しい企画が満載。

佐賀で学び育った子どもたちが、将来、佐賀で働き、活躍するために。

- SAGA SpoBiz S-PARK 開講！

SSP構想の下、佐賀をスポーツビジネスの聖地にするための入門塾を開く。受講対象は企業や個人。募集の締切日は9月10日。

- 今年も来る！五感を揺さぶる2日間 佐賀さいこうフェス10周年

美術館や博物館前を舞台に、多彩なイベントを繰り広げてきた。今年は10周年特別企画として、佐賀城天守台前をアート空間として演出するほか、SAGA ガストロノミー会議という食の企画も加わる。

昨年は7万人超が来場し、来場者数は年々増加。コロナのときも続けてきたイベント。佐賀の秋の風物詩として定着した佐賀さいこうフェスにご参加ください。